

朝陽地区

☆生活支援体制(支え合うまちづくり)☆

『ささえ 愛 あさひ通信』 第6号

発行日:平成30年6月1日 発行者:朝陽地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター

原山
です。
コーディ
ネーターの
生活
支援



「ささえ 愛 あさひ」は、現在月に一度朝陽支所の2階で、日頃の繋がりをどう作っていけるか？繋がりの中から、困りごとをどう支えられるか等、自由な視点で、わいわいがやがや検討、情報交換をしています。

第3回目は、どんな朝陽地区を目指すのか？地域像をどんなものにしていくのか？各区ごとにお話をしました。

今回のささえ 愛 あさひには、日頃からお世話になっている地域内の高齢者福祉施設に加え、三陽中学校の先生2名が参加してくださいました。

初参加の先生たちのお話の中で、なかなか地域の行事などと繋がりにくくなっている生徒さんたちの目が「地域に向いてきている」「地域と繋がりたいと思っている」というお話を伺いました。

そのお話をうけ、「高齢者がいて、若い子供たちがいて、今後どうコミュニケーションを築いていくか？」「中学生に自主防災訓練に参加してもらって、日頃から中学生の力を借りないだろうか？」など、若い方の力を借りるために、直接意見を聴いてていきたい！というお話もありました。今後、中学生にも参加していただき、具体的にどんなことから地域と関わってもらえるか？一緒に考えていきたいと思います。



☆食を通じて 子どもから、高齢者までが集まる居場所 ☆



5月18日「まんぷく食堂」北長池公会堂がフレオーブンしました。一年前「地域の繋がりとして、大人も子供も集まれる、こども食堂をやっていきたい！」とボランティアセンターの戸をノックしてくれたママたちが月に一回定期的に朝陽団地で一品持ち寄りの「まんぷく食堂」を開催。団地ではお子さんとママたちの交流の場になっていますが、今回初めて、区長さんと相談しながら公会堂での開催となりました。

食堂の始まりは、団地内の繋がりから出来る見守り。声掛けやちょっとした相談が気軽に出来る関係づくり。今回はお試しの開催でしたが、今後検討を重ね気軽に立ち寄れる居場所となれるよう活動は続きます。役員としてではなく、役割を持って楽しみながら活動を続けている「まんぷく食堂」。とても居心地の良い居場所でした。

【連絡先】

朝陽地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター（地域福祉ワーカー）原山

〒381-0014 長野市大字北尾張部226-9 電話/FAX: 213-6170

E-mail: j-asahi1906@orion.ocn.ne.jp ホームページ: http://asahi-jk.jp